



# 自衛隊栃木地方協力本部

## 令和6年度第2回予備自衛官1日間招集訓練を実施



令和6年度予備自衛官1日間訓練時に訓話を行う地本長

自衛隊栃木地方協力本部（本部長 加藤浩一 等陸佐）は、7月27日（土）、地本合同庁舎において、予備自衛官1日間招集訓練を実施した。

今年度2回目となる1日間訓練には、8名の予備自衛官が参加し、予備自衛官としての自覚と責任を認識させるとともに、翌年度から実施される予備自衛官5日間招集訓練への出頭意欲の向上を図った。

本部長は、訓示の中で大規模災害等に備え、練度の維持と健康管理への留意を要望するとともに自衛官の募集への協力を依頼した。

栃木地本は、「今後も、予備自衛官との協力関係・信頼関係を維持し各種予備自衛官業務を推進していく」としている。

## 『祇園祭ふるさと茂木夏祭り』に自衛隊ブースを出展 ～多くの若者に自衛官としての道を開くきっかけを提供～



笑顔・丁寧を心掛けて交流を深めた

自衛隊栃木地方協力本部真岡募集案内所（所長 古川3 陸佐）は7月27日（土）、茂木町で開催された『祇園祭ふるさと茂木夏祭り』の会場内に町役場職員、家族会会員の方々の支援を受けて自衛隊広報ブースを出展した。

茂木町の夏の風物詩である同会場では、地元の夏祭りならではのにぎやかな雰囲気の中、イベントや露店グルメ等を楽しむ多くの地元住民や観光客で賑わっていた。

自衛隊ブースでは、自衛隊資料やグッズ配布、さらには子供たちが気軽に参加して楽しめる「輪投げゲームコーナー」も設置した。子供たちは真剣な表情で輪を投げ、的に通すことに夢中になっている様子が見られ、「輪投げコーナーが楽しかったですー」輪投げのコツを自衛官のお兄さんに教えてもらえました」等の感想があった。自衛官（広報官）たちは「自衛隊の硬いイメージを柔らかいイメージに変える」ことを心がけ、笑顔で質問に丁寧に対応し、小中高生をはじめ多くの地域の方々と交流を図ることができた。

また、募集ブースでは自衛隊に興味がある方の掘り起しに注力して取り組んだ。ゲーム参加をきっかけに足をとめてくれた中高生を中心に自衛隊の魅力や仕事内容を分かりやすく伝え、興味を持った方々に自衛隊パンフレットや体験搭乗案内等を配布し、「自衛官になるための道を知るきっかけ」を提供した。

真岡募集案内所は「地域の伝統的な行事等にも積極的に参加し、地域の人々との交流を通じて自衛官の役割や価値を理解してもらい、多くの若者に自衛官としての道を選択してもらえよう機会を提供したい」としている。



「自衛隊っていろんな仕事があるんだね」



猛暑の中、自衛隊協力者の支援も頂きました